



『知力・体力・心力を伸ばす』この夏が勝負！

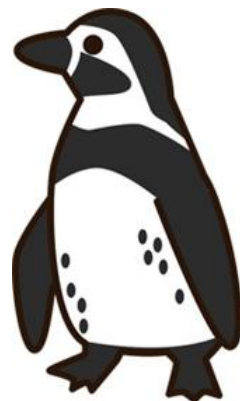
校長 浅見 正史

6月は、学校総合体育大会、体育祭、修学旅行、期末テストと、行事が目白押しの忙しい日々でしたが、そんな中でも一人ひとりがしっかりと準備を進め、それぞれの場面で輝き、活躍する姿がとても印象に残りました。そして、この夏だからこそ、できることがたくさんあります。「やらされる」のではなく、「自ら進んで取り組む」ことが大切です。いよいよ、勝負の夏が始まります。

生徒の皆さん、「ファーストペンギン」という言葉を聞いたことがありますか？ 南極では、氷の縁から最初に海に飛び込むペンギンのことを「ファーストペンギン」と呼びます。海には天敵がいるかもしれませんが、最初の一羽が勇気を出して飛び込むことで、他のペンギンたちも安心して後に続くことができます。これは、まさに“挑戦すること”の象徴です。

この夏は、時間の使い方を自分自身で選べる貴重な時期です。遊びも、勉強も、新しい挑戦も、すべて「自分から始める」ことで未来が大きく開かれます。「やってみようかな」と思ったその瞬間こそ、ファーストペンギンになるチャンスなのです。

ファーストペンギンの精神とは、「変化や挑戦を生み出す原動力になること」にあります。この精神を持った人がいるからこそ、周囲に良い影響を与え、時には社会全体を動かすような力が生まれます。では、なぜその精神が大切なのでしょう。私が考える理由を以下に挙げてみました。



- 1 「最初の一歩」がなければ、何も始まらない
- 2 周囲に勇気と希望を与える
- 3 成功も失敗も、「学び」になる
- 4 未来のリーダーシップの土台になる
- 5 自信の源になる

皆さんが「自分で決めて、自分で踏み出した」経験は、確かな自信となって心に根付きます。その自信は、人生において幾度となくあなたを支えてくれるはずです。この夏、皆さんが勇気を持って一歩を踏み出し、『知力・体力・心力』を大きく伸ばせることを心から期待しています。



保護者の皆さまへ — 計画的な夏休みを過ごすために —

この夏は、お子さまが自ら学びを見直したり、新たな挑戦に取り組んだりできる絶好の機会です。充実した時間にするために、以下のポイントを参考にしてください。

- 1 **目標を立てる**：1日に必ず実行できる具体的な目標を決めることで、やる気と達成感が生まれます。
- 2 **スケジュール管理**：優先順位を考えさせ、学習・遊び・休息をバランスよく組み立てましょう。
- 3 **声かけの工夫**：結果ではなく「プロセス」を評価するなど、日々の努力に目を向ける声かけが効果的です。
- 4 **体験を取り入れる**：地域活動など、夏ならではの体験やボランティアが学びの幅を広げます。
- 5 **休養も大切に**：無理なく過ごし、心身ともにリフレッシュする時間も忘れずに。

この夏がお子さまにとって実りあるものとなるよう、ご家庭での温かなサポートをお願いいたします。